

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【公表番号】特表2004-530050(P2004-530050A)

【公表日】平成16年9月30日 (2004.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-038

【出願番号】特願2003-505393(P2003-505393)

【国際特許分類】

C 2 5 D 5/22 (2006.01)

C 2 5 D 7/00 (2006.01)

C 2 5 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 2 5 D 5/22

C 2 5 D 7/00 G

C 2 5 D 7/00 J

C 2 5 D 7/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年4月21日 (2010.4.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 5】

このマスター電極をECPR法と合わせて使用することによって、マスター電極によって定義された各局所的な電気化学的マイクロ - 又はナノ - セル内部の電気化学的材料の除去又は付加によって材料に導電することによっていくつかの複製物が作られる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 2】

4 . 図 4 b は、マスター電極 8 によって定義されるパターン 3 がどのように基材 9 上に複製されるかを示す。エッチングにより除かれた材料は、マスター電極 8 上、各局所的な電気化学的セルの内部すべてに堆積した、堆積材料 1 3 である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 3】

5 . 陽極からエッチングにより除去される基材材料のいくらかは、マスター電極 8 上の構造中に堆積されるため、最後にはマスター電極 8 は、基材材料、堆積材料 1 3 で満たされ、したがって、マスター電極をきれいにする簡単な方法が必要である。多数のエッチングサイクルの後、通常はクリーニングプロセスを行う。堆積材料 1 3 はマスター電極 8 からエッチングによって除かれる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

最適化されたECPR法を達成するためには、これらのセル中の電氣的に活性なイオンの最適化された物質輸送が起こらなければならない。溶液中のある場所から他の場所への材料の輸送を伴う物質移動は、2の位置における電氣的又は化学的ポテンシャルの違いから、又は溶液の容量成分の移動から起こる。ミグレーション、拡散、そして対流という物質移動の3の様式がある。この場合のような薄層電気化学的セルでは、通常の巨視的セルに比べてA/V比が非常に大きい。高いA/V比は、単位容量あたり大きな摩擦力を与え、すべての容量の電解液をよどんだ層とする。これは、超音波を使用する以外は強制的な対流による物質移動が起こっているのではなく、材料輸送をおこすのは拡散及びミグレーションのみであることを意味する。これは、閉じたキャビティのマスター電極に関する。開放のキャビティのマスター電極では、犠牲レジスト層によって微小対流がおこり、そこでは層中の水路（channel）が微小対流機構を可能としている。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0071

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0071】

1の実施態様においては、酸性銅電解質を電解質として使用した。pH値は H_2SO_4 又は希NaOHのいずれかを加えることによって変えた。どのpH値が最適かを確立するために、いくつかの実験を行った。この実施態様においては、2～5のpH値が満足のいくものであるとされた。